開設講習名	【選択】アクティブ・ラーニング型授業の実践と学習評価について考える		講　師	林 透		
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市		
開 設 日	2019 年 7 月 15 日		時間数	6 時間	受講予定人数	30 人
受講者募集期間	2019 年 3 月 29 日～2019 年 4 月 6 日		履修認定時期		2019 年 7 月 31 日まで	
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	中学校・高等学校教諭			
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)				

【到達目標】

新・学習指導要領の策定に伴い、生徒の主体的な学びを促進する探究学習の導入が求められる中、アクティブ・ラーニング型授業の実践や学習評価の工夫が重要視されている。学校教育及び大学教育での実践や最新の研究成果等を紹介しながら、探究学習をはじめとするアクティブ・ラーニング型授業の意義や学習評価のあり方について学ぶ。本講習自体、受講者との対話を通して、アクティブ・ラーニングの導入方法や学習評価に関する知識や技能を学び、修得する。

①探究学習をはじめとするアクティブ・ラーニング型授業の意義や学習評価のあり方について理解し、説明することができる。

②アクティブ・ラーニングの導入方法やルーブリック等の学習評価方法に関する知識や技能について理解し、実践することができる。

【講習の概要】

本講習の前半では、探究学習をはじめとするアクティブ・ラーニング型授業やルーブリック等を活用した学習評価の実践事例を紹介しながら、生徒の「主体的・対話的で深い学び」につながる方策について考える。後半では、ミニワークを通して、アクティブ・ラーニング型授業の設計やルーブリック等を活用した学習評価方法を検討し、全体共有(発表)する受講者参加型学習を行う。

1)チェックイン(アイスブレーキング)

2)学校教育及び大学教育におけるアクティブ・ラーニング型授業およびルーブリック等を活用した学習評価の事例紹介

アクティブ・ラーニング型授業やルーブリック等を活用した学習評価の事例紹介を行う。併せて、受講者の意識調査等を行うため、クリッカーを使用しながら講習を展開する。

3)グループワーク Part1

①受講者は、アクティブ・ラーニングの要素を取り入れることを意識して、自分の授業計画の改善案について検討。

②全体共有(発表)

4)グループワーク Part2

③受講者は、アクティブ・ラーニング型授業でのルーブリック等を活用した学習評価のあり方について検討。

④全体共有(発表)

5)チェックアウト(振り返り)

6)最終試験

【評価の方法・評価基準】

評価の方法: 筆記試験

評価基準:

合　格:講義内容を理解し、説明することができる。アクティブ・ラーニング型授業の設計やルーブリック等を活用した学習評価の実践を行うことができる。

不合格:上記以外

【テキスト・参考文献】

事前にテキスト(資料)を配布予定。参考文献として、①『アクティブラーニング』(シリーズ 大学の教授法3)中井俊樹編著・玉川大学出版部、②『インタラクティブ・ティーチング ーアクティブ・ラーニングを促す授業づくりー』栗田佳代子・日本教育研究イノベーションセンター編著・河合出版などを紹介します。

【受講者への伝達事項】

受講者が担当されている授業計画表(指導計画案)をご持参ください。なお、本講習では、ミニワークを取り入れながら、受講者全体でアクティブ・ラーニング型授業について考えますので、動きやすい服装でお越しください。筆記用具、ノートを併せて準備してください。